

Cisco IOSソフトウェア H.323 サービス拒否の脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-20090923-h323

[CVE-2009-2866](#)

初公開日 : 2009-09-23 16:00

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : [7.8](#)

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID : [CSCsz38104](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco IOS[®] ソフトウェアの H.323 実装はリロードするために Cisco IOSソフトウェアを実行しているデバイスを引き起こすのにリモートで不正利用することができる脆弱性が含まれています。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。Cisco IOSソフトウェアを実行しているデバイスが VOIPサービスのための H.323 を実行する必要はない場合 H.323 をディセーブルにすることから離れて脆弱性を軽減する回避策がありません。

このアドバイザリーは [923-h323](#) で掲示されます。

注: 2009 年 9 月 23 日の IOS アドバイザリー バンドル公開には 11 件の Security Advisory が含まれています。10 件のアドバイザリーは Cisco IOS ソフトウェアの脆弱性に対処するもので、1 件は Cisco Unified Communications Manager の脆弱性に対処するものです。各アドバイザリーには、そのアドバイザリーで詳述された脆弱性を解決するリリースを記載しています。

"Cisco Event Response: Semiannual Cisco IOS Software Advisory Bundled Publication" の個々の公開リンクは次のリンク内に掲載されています:

http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/Cisco_ERP_sep09.html

該当製品

修正済みソフトウェア

H.323 メッセージを処理するために設定される影響を受けた Cisco IOS ソフトウェアバージョンを実行している Cisco デバイスはこの脆弱性から影響を受けます。H.323 はデフォルトで有効になりません。

Cisco IOS ソフトウェア デバイスを判別することは H.323 サービスを使用します **show process CPU** を経営しています | 次の例に示すように **323** コマンドを、含んで下さい:

```
Router#show process cpu | include 323
 249      16000      3      5333  0.00%  0.00%  0.00%  0 CCH323_CT
 250         0      1         0  0.00%  0.00%  0.00%  0 CCH323_DNS
Router#
```

注: H.323 リスニングポート TCP 1720 だけ影響を受けています。

Cisco 製品で稼働している Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認するには、機器にログインし **show version** コマンドを実行してシステムバナーを表示させます。"Internetwork Operating System Software"、"Cisco IOS Software" あるいはこれらに類似するシステムバナーによってデバイスで Cisco IOS ソフトウェアが稼働していることを確認できます。その後ろにイメージ名が括弧の間に表示され、続いて "Version" と Cisco IOS ソフトウェア リリース名が表示されます。他の Cisco 機器では、**show version** コマンドがない場合や、表示が異なる場合があります。

以下の例は、Cisco 製品にて、IOS リリース 12.3(26) が稼働し、そのイメージ名が C2500-IS-Lであることを示しています:

```
Router#show version
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) 2500 Software (C2500-IS-L), Version 12.3(26), RELEASE SOFTWARE (fc2)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by cisco Systems, Inc.
Compiled Mon 17-Mar-08 14:39 by dchih
```

!--- output truncated

次の例は C1841-ADVENTERPRISEK9-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.4(20)T を実行している Cisco 製品を指定したものです:

```
Router#show version
Cisco IOS Software, 1841 Software (C1841-ADVENTERPRISEK9-M), Version 12.4(20)T, RELEASE SOFTWARE (fc3)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2008 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Thu 10-Jul-08 20:25 by prod_rel_team
```

!--- output truncated

Cisco IOS ソフトウェアのリリース命名規則の追加情報は以下のリンクの "White Paper: Cisco IOS Reference Guide" で確認できます: <http://www.cisco.com/warp/public/620/1.html>

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco IOS XE および Cisco IOS XR ソフトウェアはこの脆弱性から影響を受けません。他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2009-September-23	初版リリース
--------------	-------------------	--------

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。